

マスコミ及び関係者各位

(株) 北海道ブルーカーボンプロジェクト

代表取締役 吉川 京二

### 「道東沿岸地区赤潮の状況及びブルーカーボンプロジェクトに関する説明会」開催

現在、北海道道東沿岸地区においては、初めての赤潮が原因とみられる甚大な漁業被害が相次いでいます。沿岸 16 自治体は道に対して支援要請を行い、道も国に対し、緊急要望を行う考えを示されています。

弊(株)北海道ブルーカーボンプロジェクト(詳細別添)は、この様な状況の中、当説明会を開催し、この赤潮の現況を水産研究・教育機構の長谷川氏をお招きして、ご説明頂きたいと考えております。

一方、2050年のカーボンニュートラル目指して様々な活動が行われておりますが、国土交通省を中心として、2019年度より、CO<sup>2</sup>吸収源として、ブルーカーボン\*を活用していく具体的な検討が進められております。

当説明会では、ブルーカーボン推進の第一人者であり、また国土交通省のブルーカーボン推進の委員でもある桑江 朝比呂氏(ジャパンプルーカーボンエコノミー技術研究組合 理事長)及び堀 正和氏(国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究書水産資源研究センター 社会・生態系システム部 沿岸生態系グループ グループ長)をお招きし、ブルーカーボンとオフセットクレジット及びブルーカーボンの国内外の取組み状況をご説明頂きます。

赤潮という今直面している課題と将来のカーボンニュートラルを目指す中で、海洋が貢献する中長期的な課題をテーマとした当説明会にご出席頂き、幅広い方々への発信・啓発をお願いしたいと考えております。

\*ブルーカーボンとは、藻場や干潟などの海岸生態系に蓄積される炭素のことであり、そうした蓄積作用を有する生態系を「ブルーカーボン生態系」と言います。

(記)

1. 日時 10月21日(木) 9:00 — 12:00

2. 場所 釧路市内(未定)

3. 内容(タイムスケジュール別添参照)

(1) 道東沿岸地区赤潮の状況説明

(2) ブルーカーボンとオフセットクレジット

(3) ブルーカーボンと国内外の取組み

4. 主催

株式会社北海道ブルーカーボンプロジェクト (別添資料参照)

以上

## 株式会社北海道ブルーカーボンプロジェクト 概要

1. 設立 2021年9月
2. 代表取締役 吉川 京二（プロフィール別添）
3. 資本金 300万円
4. 経営理念  
脱炭素社会を目指し、ブルーカーボン事業を通じて、漁協・行政・スポンサー企業との連携を図りながら、社会貢献ができる企業を目指す。
5. 私たちの5つの願い
  - (1) ブルーカーボンで地球温暖化を防ぎ、脱炭素社会を目指します。
  - (2) CO<sup>2</sup>を吸収し、生物の多様化を育み、豊かな海を実現します。
  - (3) 未来の子供たちにきれいな海を残します。
  - (4) 故郷の海をきれいにし、活気ある街づくりを目指します。
  - (5) ブルーカーボン事業を通じて、社会に貢献すると共に地域の活性化にも取り組みます。
6. 3つのWINの実現
  - (1) 漁場のWIN
    - ①漁場の清掃と再生
    - ②駆除対象物の除去
    - ③促成育成昆布の販売
    - ④補助金の援助
  - (2) 行政（市町村等）のWIN
    - ①ブルーカーボン実施による町のブランド化と活性化（最先端技術活用の町）
    - ②働き場所の増加（昆布販売等）
    - ③町おこしの実現（体験学習等）
    - ④海に親しむ住みよい街づくりへの貢献
  - (3) スポンサー企業のWIN
    - ①脱炭素社会を目指す企業としての評価アップ
    - ②社会貢献企業としてのブランドイメージの向上
    - ③ブルーカーボン事業のバックアップによる新規事業と収益確保
    - ④海産物等の付加価値商品の仕入れ・販売